



子供が楽しみにしているのは・・・？

12月に入り、学校の中が何やら華やかになってきました。

児童玄関には、佐世保市からのお花が飾られ、図書室や玄関、職員室回り、保健室とクリスマス飾りがにぎやかです。

先日のクラブ活動では、手作り・イラストクラブが簡単な材料でリースをつくっていました。子供らしいアイデアで、上手に作っていましたので、掲示板に飾っています。

4年生が作った詩（階段に掲示してあります）の中にも、クリスマスへの思いやプレゼントを楽しみにしている気持ち等を上手に表現していました。ちょっぴりうきうきしながら、冬休みを楽しみにしている子供たちです。

さて、子供たちは何歳までサンタさんの存在を信じているのでしょうか？



各クラスに加湿器を導入しました

寒くなり、各教室では気温に合わせて適宜暖房を使用するようになりました。そこで気になるのが乾燥です。加湿はコロナ予防にもインフルエンザ予防にも有効です。

コロナの広がりもいよいよ深刻な状態になりつつあります。学校では更にマスク着用・手洗いを徹底して予防に努めていきます。



研究授業で頑張りました【4年生】

学力向上を目指して研修を行っていますが、10日(木)には、佐世保市教委の方が本校の研修に参加され、ご指導をいただきました。4年生の国語の学習で、単元は「プラタナスの木」です。この日の学習は、根拠を明確に自分の考えを持ち、それをみんなで伝えあって深めていくというものでした。学ぼうとする子供たちの意欲が素晴らしく、話し合い活動も意欲的に行っていて、子供たちもたくさん褒められました。

来週は学力テスト週間！

運動会が終わって、どのクラスでも授業に集中する姿が顕著になってきました。

来週は「学力テスト週間」と称して、全学年学力検査にチャレンジします。(費用は学校負担)

7月には4～6年生はそれぞれ佐世保市、長崎県、全国学力検査(全国については今年度は参考としての実施)にチャレンジし、子供たちの課題も見えてきているところです。

12月の検査は、子供たちの今年度の頑張りが形になります。以前のように知識や技能を問う単純な問題より、関連付けて考えたり、必要な情報を読み取って解決したりという、問題を詳しく読み込まないと解けない複雑な問題が増えてきています。それは、生活の中で生かすことができるか、という視点も問われているからです。

難しいと感じても、投げ出さず、丁寧に読み込んで、持っている自分の実力は発揮してほしいと思います。そして、「がんばったらできる！」という達成感をぜひ味わって欲しいと願っています。

吉井歴史探訪⑤

【直谷城址（長崎県文化財指定）

④直谷城に伝わる伝説】

安徳天皇伝説

本校の裏庭を内裏の庭といい、直谷城がある裏山を内裏山とも言い、直谷城の別名は内裏城です。また、遺跡の中心部には内裏神社があります。そう、「内裏」と言われるゆえんは、ここに天皇＝安徳天皇がいらっしゃったという伝説からくるものかもしれません。

安徳天皇は、壇ノ浦の戦いに敗れ、祖母の二位尼と入水したと伝えられていますが、その後生き延びて〇〇に隠れていたという伝説が、西日本を中心としてあちこちの地方に残されています。



その安徳天皇の吉井ご潜幸の伝説は次の通りです。
（「ふるさとの歴史 吉井町」より転記）

伝説①

壇ノ浦からお逃げになり、筑前英彦山の奥の黒川（甘木市黒川）でひそかに隠れられてご成長。その後肥前の直谷に移られてご成人の後、島津氏の女御（むすめご）を納れ、重尚、助国の二子を挙げられた。

その後、対馬の阿比留平太郎が太宰府の命に従わなかったので、寛元 4 年（1247）重尚を将として豆餒（つつ）に渡航されて対馬を平定せられ、父の天皇を肥前の直谷から対馬にお迎えになり、大内山（現在の久根）田舎に皇居をお定めになった。天皇は 6 年後の建長 3 年（1251）4 月、御宝算 74（才）で崩御せられた。

伝説②

島津氏の女御を納れ、重尚、助国の二子を挙げられたところは「黒川」で、新中納言知盛の孤子惟宗馬乃助の子として養育せしめ、（その後）志佐直谷城へと船出し給う。

※ どちらも行程は同じだが、結婚と二子をなした場所が「黒川」と「直谷」で異なっている。

実際、本校の校区には、伝説に関わる多くの地名が残されています。本校は、いろんな意味で歴史的にも非常に興味深く、貴重なところなのですね。

次回も伝説について！

（参考；和田氏の話及び著作「直谷城と安徳天皇伝説」）